

原田淑人 （註） 考古學者、文學博士。明治十八年四月五日東京生れ、
昭和四十九年十一月二十二日没（八五—一九七五）。明治四十一年東京帝
國大學文科大學東洋史學科卒。大正十四年東亞考古學會を創設、昭和
十年帝室博物館鑑査役（のち歴史課長）、十二年東京帝大教授、戦後
聖心女子大學教授。帝國學士院會員、日本考古學會會長。

著書 『從考古學上觀察中日古文化之關係』（錢稻孫譯、昭和八年一月
京壽東文書藏「京壽譯叢」）、『正倉院ガラス容器の研究』（昭和）
十二年十一月十日座右寶刊行會「座右寶叢書」）、『北海道先史學十
講』（合著・米村喜男衛編、昭和二十四年十一月二十日札幌・北方
書院）、『中國考古學の旅』（訪中考古學視察団報告）』（編、昭和二
十二年十月十五日毎日新聞社）、『博物館文化史講座・第一集—日本
における外来文化』（合著・東京国立博物館監修、昭和二十二年十月
二十五日吉川弘文館）等。

